

白衣長髯の飄逸な二人の老人が何処から来て何処へ去るとなく歩いて行く。
いかにも思索的でとぼけた人物の表情だ。
人間くさく、幾多の哀歎を秘めて息災に生き抜いてきた生の造形だ。
以前、私の手元にあった鶴竜山窯の徳利への賛辞であるが、云いえて妙である。
さてさて、この度は酒器にしよう。

小松克丸



鶴竜山写花入 W14.8×H22.5cm

今 小松克丸 千春 陶二人展



青白磁壺 W21.0×H36.0cm

薪を窯に入れて椅子に座り、湯飲みを手にした所までは覚えていたのですが、
膝にこぼれたお茶の熱さでハッとわれに返り目を覚ます……。
もう二十五年以上も前に、一人で穴窯を焚き続けた日が昨日の様な気がします。
失敗続きの積み重ねでどうなるのかと思いましたが、皆さんの温かな気持ちを
頂いて続けることが出来ました。ただただ感謝感謝です。

今 千春

小松克丸・今 千春 陶二人展

◎会期:2010.5月3日(月)・4日(火)・5日(水) AM10:00~PM5:00

◎会場:朝日酒造 松 籟 閣 新潟県長岡市朝日880-1 tel.090-4175-1336 (今)

この度、地元を代表する陶芸家 今千春氏と、宇都宮在住の陶芸家 小松克丸氏による「陶二人展」が、松籟閣を会場に開催されることとなりました。国の登録有形文化財「朝日酒造 松籟閣」を会場に繰り広げられます、土と炎の芸術作品展を、より多くの皆様にご鑑賞いただきたく、ご来場をお待ちいたしております。

開催期間中には、お楽しみ企画が満載とお聞きしております。またこの季節酒蔵周辺では、一際美しい新緑が皆様をお迎えできるものと思っております。

朝日酒造株式会社 取締役社長 平澤 修

〈呈茶席〉

- 5月5日(水)
 - AM10:00~PM4:00
- 山口宗徐 社中

